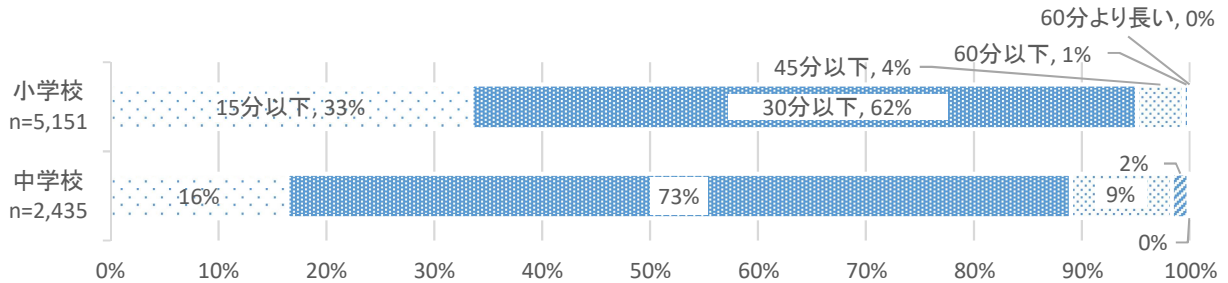


1 アンケート概要

アンケート期間：2022年(令和4年)9月1～9月16日まで  
アンケート回答数：6,462人(回答率19%)

2 アンケート結果(抜粋)

Q どの程度の時間までが通学時間の可能な範囲だと思いますか？

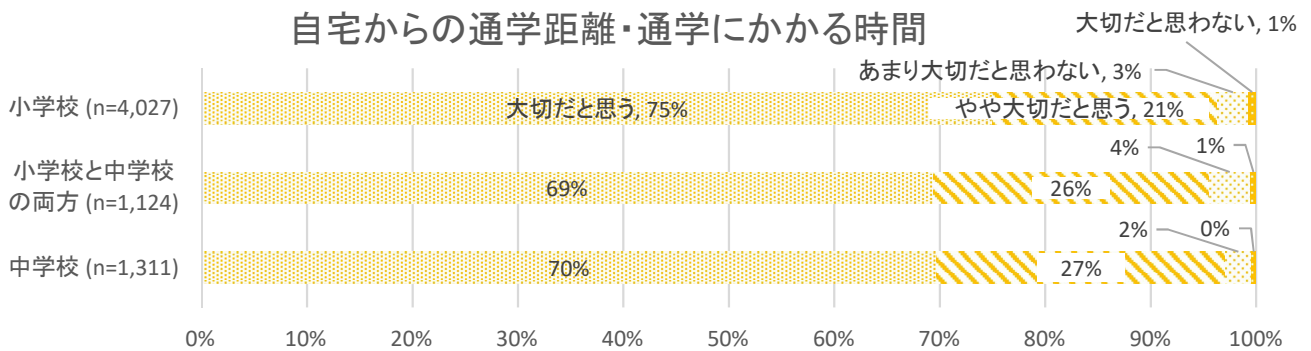


Q 「藤沢市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針」にそって、これからの学校の規模や配置について検討していくうえで、大切だと思うことは何ですか？

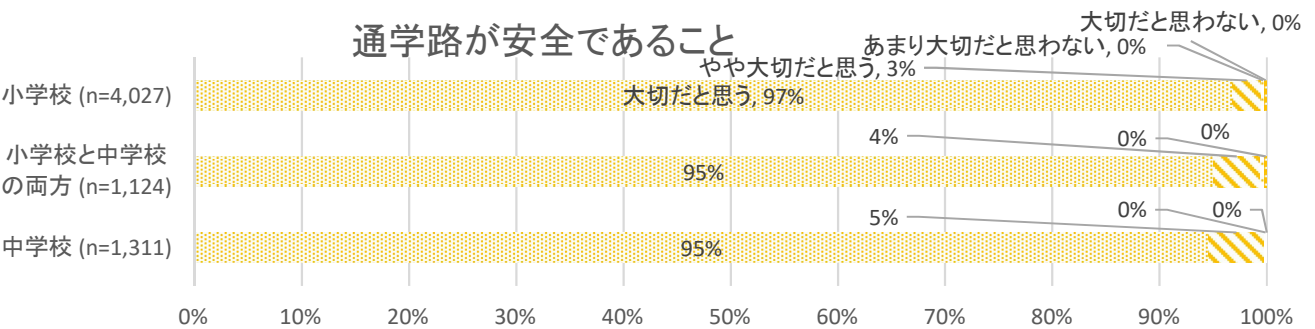
4段階評価

(1大切だと思わない/2あまり大切だと思わない/3やや大切だと思ふ/4大切だと思ふ)

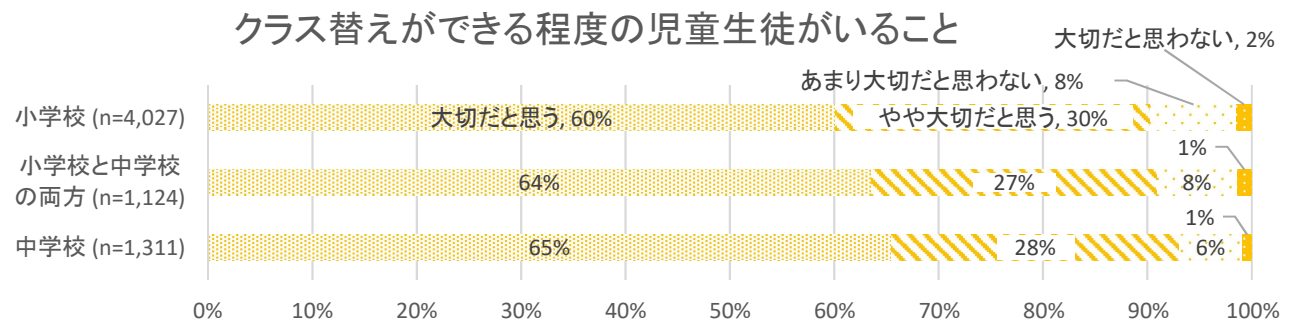
自宅からの通学距離・通学にかかる時間



通学路が安全であること

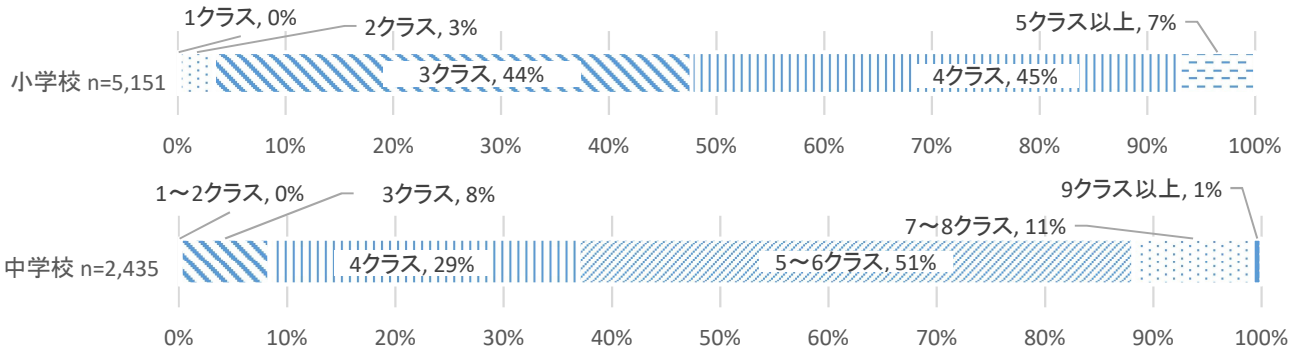


クラス替えができる程度の児童生徒がいること



## 小中学校保護者アンケート

Q あなたは小学校または中学校は1学年あたり、何クラスが理想的だと思いますか？



「藤沢市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針」にそって、これからの学校の規模や配置について検討していくうえで、大切だと思うことは何ですか？に寄せられた意見(抜粋)

分類	件数	意見(抜粋)
学区	222	住所で区切るのではなく、最も近い学校に通えることが理想かと思います。ただ、児童数など考慮したい点もあるので、複数の選択肢があってもよいかと思います。
学校規模	273	先生の目が行き届く範囲の人数であること。全員が施設を充分に使える人数であること。
通学路	180	実際に通う子どもと保護者が安心して通えるのが理想だと思います。子どもへの負担は少なければ少ない方が良いでしょう。
設備	166	設備や環境が学校によって差が無いこと。
災害時	20	今後の震災、特に地震に備えての安全な校舎、自宅から離れ過ぎない程度の避難可能な距離にある学校。
教員に関すること	126	教員の負担軽減のためにも、生徒と先生のバランスは大事だと思います。
支援学級	12	今後増加する支援級の児童のために、支援級やインクルーシブ教育の質、数のUP。
地域	28	地域の見守り体制。
その他※	328	ランドセルが重すぎるので、臨機応変に学校に置けるようにしてもらえるとありがたい。 共働き世帯の増加に伴い、PTAでの保護者の負担を軽減し、子どもとの時間を増やすこと。 学童(児童クラブ)が学校の至近距離にあって欲しい。

※その他に関しては、学童、PTA、給食、教育方針、荷物が重いなどの意見がありました。

### 3 アンケート調査結果(全体版)のご案内

学校適正規模・適正配置担当ホームページでは、本アンケートの全体版を掲載しておりますのでご覧ください。

検索

2次元  
コード

藤沢市教育委員会 教育総務課  
学校適正規模・適正配置担当  
Tel 0466-50-3556 (直通)  
fj-kyouiku@city.fujisawa.lg.jp